

国語の全体概要

国語全体の正答率は、国・県の正答率を上回る結果が得られました。領域ごとでは、「言葉の特徴や使い方に関する力」「読むことに関する力」は、ほぼ同じ。「話すこと・聞くこと」で大きく上回り、「書くこと」では県平均を大きく下回りました。

国語の分析結果と本校の課題について

言葉の特徴や使い方	話すこと聞くこと	書くこと	読むこと
●全国平均とほぼ同じではありましたが、文中における修飾と被修飾との関係を捉えることについて理解不足が見られました。	○資料を用いた目的を理解することができるかどうかをみる設問で、全国平均を大きく上回りました。	●主張が明確に伝わる文章全体の構成について適切に説明しているものを選択する設問で全国平均を大きく下回りました。 ●目的や意図に応じて理由を明確にしながら、自分の考えが伝わるように文章を書く設問で全国平均を大きく下回りました。	●目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する設問で、全国平均をやや上回ったものの、指示された条件に合わせて解答できなかったものもありました。

今後の対応

- ・説明文を読み要約をしたり、物語文から要旨をとらえたりするために書くなど条件に合わせて書く活動を意図的に段階的に仕組んでいきます。
- ・文章を読み、重要な語句（キーワード）を見つけたり、主張を短い文章で要約したりする学習を通して、インプット、アウトプットを意識した学習に取り組んでいきます。

算数の全体概要

算数全体の正答率は、国・県平均を下回りました。領域ごとでは、「データの活用の力」で県平均をやや上回り、「測定する力」の正答率は、県平均をやや下回りました。「計算する力」「図形に関する力」「変化と関係の力」は、大きく下回りました。

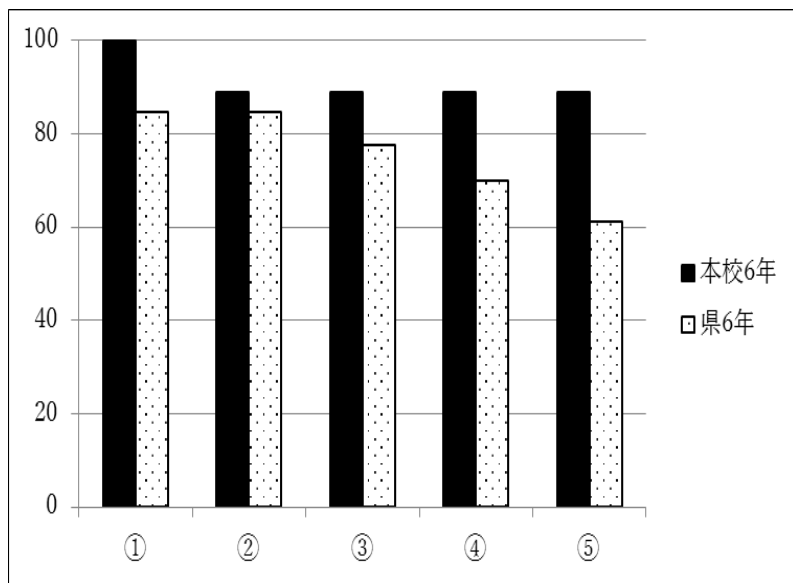
算数の分析結果と本校の課題について

数と計算	図形	測定	変化と関係	データの活用
○余りのある除法の結果について、日常生活の場面に即して判断できていました。 ●数量の関係を捉えることに課題が見られました。	●三角形の求積に必要な公式について、理解不足の状況が見られました。また、底辺や高さがどこに当たるかを理解できていない場合が多く見受けられました。	○時間や量の保存性や加法性の基本的な性質についてほぼ理解していました。	○時間を求める式の公式は理解できていました。 ●速度の問題において、単位量当たりの大きさの意味の把握に課題が見られました。	○棒グラフの読み取りは良く理解できていました。

今後の対応

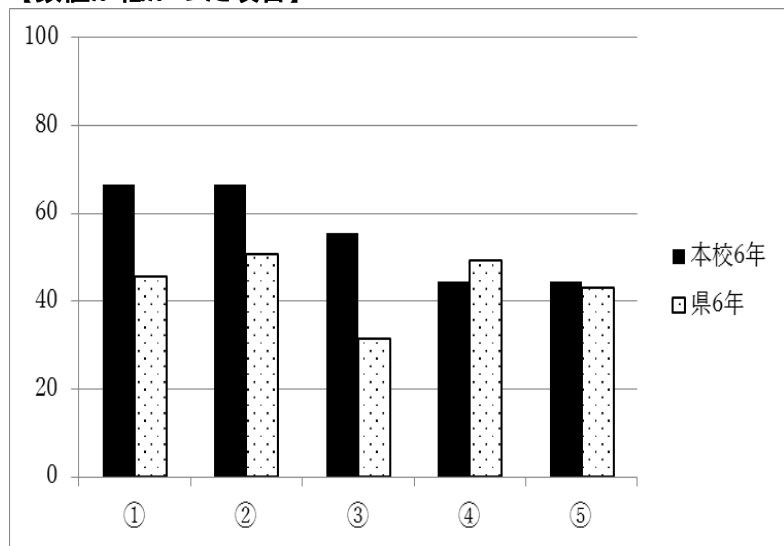
- ・選択式問題で選ぶことはよくできていましたが、段階を追って論理的に考えて答える記述式問題に課題が見られました。「説明させる授業」を意図的に仕組んだり、過去の類似問題にふれさせたりして記述式の書き方に慣れさせていく機会をつくっていきます。
- ・日常の事象を数理的に捉えて数学的に表現・処理することができていました。今後も日常の事象に絡めた取組を進めていきます。
- ・図形領域において、公式や図形を構成する要素に着目することに課題が見られました。定期的に復習の機会を作っていくようにします。

【数値が特に高かった項目】



	調 査 の 項 目
①	11：いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。(100%)
②	1：朝食を毎日食べている。(88.9%)
③	12：人の役に立つ人間になりたいと思う。(88.9%)
④	16：友達と協力するのは楽しいと思う。(88.9%)
⑤	20：学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっている。(インターネットを通じて教わっている場合も含む。)(88.9%)

【数値が低かった項目】



	調 査 の 項 目
①	19：土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をするか。(1時間以上、2時間より少ない。)(66.7%)
②	26：5年生までに受けた授業で、コンピューターなどのICT機器をどの程度使用したか。(月1回以上)(66.7%)
③	52：算数の勉強は好きか。(どちらかと言えばあてはまらない。)(55.6%)
④	54：算数の授業の内容はよく分かるか。(どちらかと言えば当てはまらない。)(44.4%)
⑤	18：学校の授業以外に、普段(月～金)1日当たりどれくらいの時間勉強するか。(30分～1時間)(44.4%)

〈分析と取り組み〉

〈数値が高かった項目〉

- ・規範意識が高く、友だちづきあいの中でのルールややってはいけないなどは十分理解できていました。
- ・朝食を食べている児童が多く、「朝ごはんを食べさせて登校させる」という保護者の意識の高さが読み取られました。
- ・「自分の夢や目標を持っていますか」の質問に対し、数値が高い児童が多いため、自分の目標に向かって意欲をもって頑張る姿勢がうかがえました。

〈数値が低かった項目〉

- ・平日、テレビゲームをする時間が3時間以上4時間未満の児童が多く、学習時間が少ない傾向が見られました。保護者への協力をお願いして学習時間とテレビゲームをする時間を逆転させられるよう働きかけをしていきます。
- ・「5年生までに受けた授業で、コンピューターなどのICT機器をどの程度使用しましたか」の問いに対して「月1回以上」と答えた児童が多かったため、1人1台タブレットの利活用も含め、教師側のスキルアップと同時に授業に積極的に利用していきます。